

## 入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和8年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

### 記

開催日時 令和8年5月19日（火） 14：00～15：30

開催場所 本庁15階 15C会議室

## 令和8年度第1回北九州市入札等監視委員会 議事概要

### 1 会議名

令和8年度第1回北九州市入札等監視委員会

### 2 開催日時

開催日時 令和8年5月19日(火) 14:00～15:30

開催場所 本庁15階 15C会議室

### 3 出席委員(五十音順)

城戸 将江、古林 節子、中里 彰宏、樋上 弥寿子、三輪 仁

### 4 議事

#### (1) 北九州市入札等監視委員会 委員長選出

ア 樋上委員が委員長に選出された。

#### (2) 北九州市入札等監視委員会 委員長職務代理者指名

ア 古林委員が委員長職務代理者に選出された。

#### (3) 令和7年度第4四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

#### (4) 令和7年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和7年度第4四半期に契約をした工事の中から、樋上委員が10件(契約課契約分8件、西部整備事務所契約分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、落札金額が5位で、技術点が1位の業者が落札しているため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 折尾地区総合整備事業の一環で実施する土地区画整理事業に伴う道路の増改築工事である。

本件工事は、一般的な道路改築工事ではあるが、施工中に交差点の切り換えを行うことから、歩行者や一般車両への安全に配慮する必要があり、企業の技術力及び配置予定技術者の評価をする簡易型の総合評価方式を採用した。

土木事業者を対象に公告したところ、13者から入札参加申請があったが、3者が辞退し、10者による競争となった。

入札の結果、入札金額は5位、価格以外の評価点は1位であり、総合した評価値で1位となったため、落札業者と決定した。これは、基準価格を境に、

入札金額が安過ぎる場合、高すぎる場合は評価値が下がるためである。

(問) 一般競争入札による土木工事で、災害復旧工事であるが、一般競争入札を採用した理由を知りたく抽出した。

(答) 貫山線林道の災害復旧を行う工事である。  
工事場所は林道であり、さらに被災の影響によって、道幅が狭くなったところや、路肩が大きく崩壊しているところがあった。  
そのため、施工箇所までの重機や材料の搬入経路の検討等で、高度な技術力が必要であり、業者を広く募るためにも緊急対応ではなく、一般競争入札を行った。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 2016年4月に施行された特定天井に関する技術基準の厳格化に伴う、若松体育館アリーナ天井の耐震化工事である。  
東日本大震災において学校体育館や公共ホールの天井が落下したことにより、特定天井に関する技術基準が厳格化されることとなった。  
アリーナ以外の施設を一般に開放しつつ工事を行うことから、アリーナ以外の施設利用者の動線を確保するなど、安全に配慮する必要があり、簡易型の総合評価方式を採用し、落札業者を決定した。

(問) 一般競争入札による建築工事で、詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 折尾駅南側、駅前広場の路線バス等の専用ロータリーに上屋を新築する工事である。  
本件工事は基礎工事の要素も含んでおり、また、折尾地区総合整備事業に伴う区画整理などの土木工事が同エリアにて行われているため、各受注者との調整を行う必要もあったことから、入札参加者は少なく、3者の競争入札となった。

(問) 一般競争入札による電気工事で、落札率が最も低いため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 北九州芸術劇場の高圧進相コンデンサ及びリアクトルを更新する工事である。  
本件工事は、一般競争入札で東部地区のA・Bランク業者を対象に公告したところ、10者から入札参加申請があったが、1者からは応札が無く、2者が辞退したため、7者による競争入札となった。  
既製品の機器を据え付ける工事であり、同等品の機器を安価に調達できる可能性もあるため、最低制限価格を設けずに入札を実施し、最も低い金額で入札した業者を落札者と決定した。

(問) 総合評価、一般競争入札における造園工事で、予定価格が1億円を下回る工事で総合評価落札方式を適用した理由を知りたく抽出した。

(答) 勝山公園の西側、旧小倉合同庁舎跡地に、市民が集い交流できるスペースを整備する工事である。

総合評価の採用については、工事箇所の周辺環境や工事の難易度などにより決定するところである。

工事場所は、勝山公園、西小倉小学校が隣接しており、また周辺にマンションも多く、歩行者の安全確保に配慮する必要性があったため、総合評価方式を採用することとした。

なお、入札参加申請は5者あったが、2者が辞退したため、3者による競争となり、総合した評価値で1位となった業者を落札者と決定した。

(問) 一般競争入札による電気通信工事で、詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 新金辺トンネルにおいて、トンネル内で火災や事故が起きた際に事故発生を知らせるための通報装置など非常用設備を更新する工事である。

トンネルの非常用設備は必要な時に確実に作動する必要があるため、そのシステム構築にあたっては、いわゆる製造メーカーへの発注が望ましく、全国的にも施工可能な業者が少ないため、地元に限らず、幅広く技術力や施工実績を持つ事業者を募った。

なお、入札参加申請は3者あったが、2者が辞退したため、応札した業者を落札者とした。

(問) 随意契約による土木工事で、特命の理由を知りたく抽出した。

(答) 紫川河川改修工事に伴い、豊後橋上流側の右岸の低水護岸を整備する工事である。先行工事を行っていたところ、仮設矢板打設の際に想定より高い位置に岩盤が確認され、再検討等に不測の時間を要したため、工期内に収まらなかった残工事を行うもの。

工事内容が、いわゆる先行工事で打設した仮設矢板の撤去などを含んでおり、施工業者が異なった場合に安全性や契約不適合責任の範囲が不明確になることや、出水期までに速やかに工事を完了する必要があること、そして継続して施工することで工期及び諸経費を削減できるといった理由により、先行工事を行った業者と特命随意契約を行った。

(問) 西部整備事務所分の案件で、後の案件と同様の昇降機撤去工事であるが、本件は「土木工事」、一方は「解体工事」で発注されているため、理由を知りたく抽出した。

(答) 本町歩道橋の老朽化したエスカレーター2基を撤去し、接続部を復旧する工事である。

金額を積算する際に、複数工種があるケースでは、直接工事費に占める割合が一番大きい工種を主たる工種とすることを原則としている。

本件工事では、エスカレーターの撤去は解体工事、接続部の復旧は土木工事であるが、チェーンポールの取り付けなども行う土木工事の方が直接工事費に占める割合が大きいため、土木工事として発注した。

(問) 西部整備事務所分の案件で、前の案件と同様の昇降機撤去工事であるが、一方は「土木工事」、本件は「解体工事」で発注されているため、理由を知りたく抽出した。

(答) 本件工事は、中央通り歩道橋を含むエスカレーター上りと下りの合計4基を撤去する工事である。

地元住民の強い要望を受け令和8年夏までにエスカレーターを撤去する必要があったが、事業に着手した令和7年度は予算の執行に制約があったため、同時施工の工事との調整が不要な撤去後の接続部復旧は今回の工事から外し、エスカレーター解体のみ先行して実施することになった。

その結果、本件工事における直接工事費の内容もエスカレーター解体のみとなったため、解体工事として発注した。

なお、接続部の復旧工事は令和8年度予算で発注する予定である。